別紙４

**避難確保計画チェックリスト（土砂災害対策編）**

|  |  |
| --- | --- |
| **施設**  チェック担当者名 | **市町村**  チェック担当者名 |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 |  |
| 市町村名 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設が有する災害リスク等の確認 | | **施設**  チェック欄 | **市町村**  チェック欄 |
| 災害リスクの確認 | 土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域内に位置するか | □ 位置することを確認した | □ 位置する  □ 位置していない |
| 災害リスクに応じて、当該施設が市町村地域防災計画に位置づけられているか | | □ 位置づけを確認した | □ 位置づけている  □ 位置づけていない |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 計画項目 | チェック項目 | **施設**  チェック欄 | **市町村**  チェック欄 |
| 1. 防災体制、情報収集及び伝達   （土砂災害防止法施行規則5条の2一）土砂災害が発生するおそれがある場合における防災体制に関する事項 | |  |  |
|  | 1. 気象情報や土砂災害に関する情報、避難情報の収集・伝達方法等を適切に定めているか | □ 対応済  □ 要改善 | □ 適切  □ 要改善 |
| 【着眼点】   * 雨量情報や土砂災害警戒情報等の防災気象情報、市町村からの避難情報、その他避難に必要な情報について、誰が、どうやって、何を収集するか記載されているか * 収集した必要な情報を誰に、どうやって伝達するか、明確に記載されているか * 市町村等への連絡者、連絡先、連絡手段、連絡するタイミング（避難開始や避難完了のタイミング等）が記載されているか * 他の同種施設等を避難先に選定している場合には、その連絡先や連絡するタイミングを定めているか |
| 1. 避難を開始するタイミングを適切に定めているか | □ 対応済  □ 要改善 | □ 適切  □ 要改善 |
| 【着眼点】   * 「警戒レベル３高齢者等避難」が発令された場合に避難を開始することにしているか * 「警戒レベル３高齢者等避難」の発令の目安となる大雨警報（土砂災害）も避難開始の判断指標にしているか * 「警戒レベル３高齢者等避難」の発令を受けてから避難を開始しても間に合わないなど、利用者全員が避難を完了するまでに多くの時間を要する施設については、それよりも早いタイミングで避難を開始することにしているか * 避難完了までの時間を確保した上で、利用者の身体的な負担等を考慮し、利用者の身体状態に応じて避難開始のタイミングを分けるなど、施設の実情に応じた避難方法を定めているか * 利用者全員が避難するのに要する時間を計画に記載しているか |
| 1. 利用者の避難支援のための体制確立は適切であるか | □ 対応済  □ 要改善 | □ 適切  □ 要改善 |
| 【着眼点】   * 避難行動について指揮する者を定めているか * 大雨や暴風により交通途絶が生じることで職員の参集が困難になることも想定し、特に夜間や休日に災害が切迫する可能性がある場合には、明るいうちに体制を確立するなど、早めに避難支援要員を確保する体制にしているか * 通所型の施設については、台風の襲来など、「警戒レベル３高齢者等避難」の発令が事前に予想される場合には、臨時に閉所するなどの措置を定めているか * 消防団や近隣企業、地域住民等の地域関係者、利用者の家族を避難支援協力者として組み込んでいる場合には、その要請のタイミングや連絡先を定めているか |
| 1. 避難の誘導   （土砂災害防止法施行規則5条の2二）土砂災害が発生するおそれがある場合における避難の誘導に関する事項 | |  |  |
|  | 1. 安全が確保できる避難先を適切に選定しているか | □ 対応済  □ 要改善 | □ 適切  □ 要改善 |
| 【着眼点】   * 選定した避難先（指定緊急避難場所、近隣の安全な場所、他の同種施設、屋内安全確保（垂直避難等）の場所）は、想定される災害に対して安全な場所であるか　（家屋倒壊等氾濫想定区域や土砂災害警戒区域内に含まれていないこと、避難先の床高が浸水しない高さにあり食糧の確保など浸水継続時間に応じた避難に対応できること等） * 選定した避難先が、移動に伴う利用者等のリスクや避難にかかる時間等を踏まえた実効性のあるものになっているか * 選定した避難先において利用者のケア等の対応が可能であるなど、避難の実効性が確保されているか * 不測の事態が生じることも想定し、複数の避難先を選定しているか、また、少しでも安全な場所に移動する「緊急安全確保」の方法を定めているか |
| 1. 安全が確保できる避難ルートや避難方法を定めているか | □ 対応済  □ 要改善 | □ 適切  □ 要改善 |
| 【着眼点】   * 施設から避難先までの移動経路の災害リスクや、交通途絶等の可能性も考慮して、安全で確実な避難ルートが選定されているか * 施設外の避難先に移動するために必要な車両の台数や手配方法などを定めているか |
| 1. 避難支援に必要な要員を適切に確保しているか | □ 対応済  □ 要改善 | □ 適切  □ 要改善 |
| 【着眼点】   * 避難に要する時間を考慮した上で、避難支援要員の人数が確保されているか * 必要に応じて、消防団や近隣企業、地域住民等の地域関係者や利用者の家族など、避難支援協力者を定めているか |
| 1. 避難の確保を図るための施設の整備   （土砂災害防止法施行規則5条の2三）土砂災害が発生するおそれがある場合における避難の確保を図るための施設の整備に関する事項 | |  |  |
|  | 1. 雨量情報、土砂災害に関する情報等や避難情報を入手するための方法が記載されているか | □ 対応済  □ 要改善 | □ 適切  □ 要改善 |
| 【着眼点】   * 市町村から施設に伝達される情報が確実に届くよう、複数の手段を確保しているか |
| 1. 避難に必要な設備が記載されているか、また、夜間に避難を行うことも想定して、必要な設備が記載されているか | □ 対応済  □ 要改善 | □ 適切  □ 要改善 |
| 【着眼点】   * 避難行動する際に、利用者の健康状態等を考慮し、避難に必要な設備や機材等が記載されているか * 夜間の避難に備えて、電池式照明器具や、利用者が誘導員を識別するための誘導用ライフジャケット等の機材を確保しているか |
| 1. 屋内安全確保（垂直避難等）を行う場合に必要な物資等を確保しているか | □ 対応済  □ 要改善 | □ 適切  □ 要改善 |
| 【着眼点】   * 「屋内安全確保（垂直避難）」を行う場合に備え、備蓄や電気・水等について、長時間の避難にも対応できるよう確保されているか   （３日分の施設の機能を維持できる水や非常用自家発電設備の燃料を確保することが望ましい） |
| 1. 防災教育及び訓練の実施   （土砂災害防止法施行規則5条の2四）土砂災害が発生するおそれがある場合を想定した防災教育及び訓練の実施に関する事項 | |  |  |
|  | 1. 防災教育や訓練を適切に実施することにしているか | □ 対応済  □ 要改善 | □ 適切  □ 要改善 |
| 【着眼点】   * 防災教育や訓練の実施頻度を具体的に定めているか（訓練については原則として年１回以上の頻度で実施することが望ましい） * 職員に対して防災教育の機会を提供することとしているか * 避難確保計画の内容を職員に周知することとしているか * 利用者が施設を利用する際に避難確保計画の内容を利用者の家族に周知することとしているか * 情報伝達訓練や避難ルートの確認訓練、資機材の確認訓練、図上訓練、利用者の避難先への移動訓練など、実施する訓練の種類を具体的に定めているか （すべての訓練を一度に行うのではなく、利用者や職員の負担を軽減するため、訓練を分けて行う工夫も必要） （避難誘導訓練において、施設利用者等が全員参加するのでは無く、身体的な状況に応じて避難支援に必要な人数や避難時間等を確認する訓練実施するなどの工夫も必要） * 訓練実施の際には、避難支援協力者に組み込まれている消防団や近隣企業、地域住民等の地域関係者や利用者の家族も参加することにしているか * 訓練で得られた教訓を踏まえて、必要に応じて計画の見直しを実施することにしているか |